

和歌山線の希望 227 系

1. 初めに

今、和歌山線は変わりつつあります。和歌山線は、現在 105 系と 117 系という国鉄型の古い車両を使用しています。そのため、227 系への車両置き換えが計画されています。



105 系

JR 西日本 3

(kochan-softroom.game.coccan.jp)より引用



117 系

原寸画像検索 (gensun.org)より引用



227 系イメージ 鉄道ファン (railf.jp/news)より引用

2. 227系を使用する和歌山線の概要について

管轄(事業種別)：西日本旅客鉄道(第一種鉄道事業者)

路線距離(営業キロ)：87.5km

軌間：1,067mm

駅数：36(起終点駅含む)

複線区間：なし

電化区間：全線電化(直流 1,500V)

閉塞方式：自動閉塞式(特殊)

運転指令所：

王寺～五条間：大阪総合指令所

五条駅～和歌山間：和歌山指令所

最高速度：85km/h

3. 227系の特徴について

(1)車両形式 227系

(2)利用線区 和歌山線・桜井線(紀勢線の一部も含む)

(3)車両数 56両(2両編成×28本)

(4)導入時期

2019年春から順次投入し、2020年春に全車両置き換え完了予定です。

(5)主な特徴

①安全性

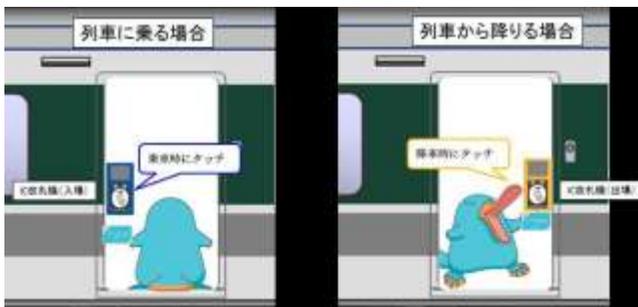
最新の車両で導入している車両異常挙動検知装置や先頭車間転落防止ホロの設置、戸挟み検知装置、EB-N装置(運転士異常時列車停止装置)、とっさの際に掴まりやすい形状・オレンジ色調の吊手、手スリの採用など、安全性を高めています。

②快適性

全てのお客様に快適にご利用いただける様に多機能トイレ・車椅子スペース設置や、車内灯としてのLED照明の採用、自動温度調節による空調の最適化など、サービスを充実しています。

③利便性

車載型 IC 改札機による円滑な乗り降りや、車内ドア上部の情報表示装置による行き先案内、自動案内放送(日英 2 カ国語対応)を活用した乗り降りの円滑化などを行います。



車載型 IC 改札機について JR 西日本 (www.westjr.co.jp)より引用

④デザイン

これまでの近畿エリアの車両のデザインを継承しながら、扉の両側壁部分を中心にカラーリングしている。走行する奈良と和歌山エリアに共通する文化・歴史・自然の奥深さを表現した緑色を基調としています。

⑤車載型 IC 改札機を使用した ICOCA エリア拡大

新型車両に全車置き換え完了後「車載型 IC 改札機」を使用する予定。これにより奈良県下全域ならびに和歌山線全線が ICOCA エリアとなり、様々な利用シーンでますます便利になります。

- ・ 車両異常挙動検知装置の採用
- ・ 先頭車間転落防止ホロの採用
- ・ 戸ばさみ検知装置の採用
- ・ 運転士異常時列車停止装置の採用
- ・ つかみやすく目立ちやすいオレンジ色の手すり、つり手の採用
- ・ LED の車内灯
- ・ 自動温度調節

4. 和歌山線と 227 系

227 系はロングシートですが、それには訳があります。227 系は、2 両編成です。しかし和歌山線は、朝夕ラッシュが激しく、2 両編成が大混雑となります。だから、少しでも混雑を緩和するためにロングシートで、のることができる面積を増やしているのです。しかし、昼間は乗る人がほとんどいないため、両数を増やせないのです。



JR 西日本 (www.westjr.co.jp)より引用

5. 和歌山線以外の 227 系の使用

現在、227 系は、塗装を変えて数ヶ所に使用されています。



広島の 227 系

Wikipedia227 系([ja.wikipedia.org/wiki/JR 西日本 227 系電車](http://ja.wikipedia.org/wiki/JR_西日本_227_系電車))より引用

6. 参考文献

JR 西日本 www.westjr.co.jp

タビリス tabiris.com

鉄道ファン railf.jp